

令和5年第1回邑楽町議会定例会議事日程第4号

令和5年3月16日（木曜日） 午前10時開議

邑楽町議会議場

- 第 1 議案第17号 令和5年度邑楽町一般会計予算
- 第 2 議案第18号 令和5年度邑楽町国民健康保険特別会計予算
- 第 3 議案第19号 令和5年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算
- 第 4 議案第20号 令和5年度邑楽町介護保険特別会計予算
- 第 5 議案第21号 令和5年度邑楽町下水道事業特別会計予算

○出席議員（12名）

2番	佐藤富代	議員	3番	小久保隆光	議員
4番	黒田重利	議員	5番	大賀孝訓	議員
6番	瀬山登	議員	7番	松島茂喜	議員
8番	塩井早苗	議員	9番	原義裕	議員
10番	松村潤	議員	12番	小沢泰治	議員
13番	大野貞夫	議員	14番	小島幸典	議員

○欠席議員（なし）

---

○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

金子正一	町長
半田康幸	副町長
藤江利久	教育長
松崎嘉雄	総務課長
齊藤順一	財政課長
橋本光規	企画課長
横山淳一	税務課長
山口哲也	住民保険課長
橋本恵子	福祉介護課長
久保田裕	健康づくり課長
中繁正浩	子ども支援課長
吉田享史	農業振興課長 兼農業委員会 事務局長
小島拓	商工振興課長
金井孝浩	建設環境課長
新島輝之	都市計画課長
築比地昭	会計管理者 兼会計課長
松崎澄子	学校教育課長
田中敏明	生涯学習課長

---

○職務のため議場に参加した者の職氏名

石	原	光	浩	事	務	局	長
秋	元	智	美	書			記

---

◎開議の宣告

○松村 潤議長 これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、配付したとおりであります。

[午前10時00分 開議]

---

◎日程第1 議案第17号 令和5年度邑楽町一般会計予算

○松村 潤議長 日程第1、議案第17号 令和5年度邑楽町一般会計予算を議題とします。

これより逐条質疑に入ります。

まず、一般会計の歳入全款について質疑を行います。予算書では34ページまでです。

質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○松村 潤議長 進行してよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○松村 潤議長 次に、歳出の第1款議会費、第2款総務費、第3款民生費について質疑を行います。

予算書では、35ページから81ページとなります。

質疑ありませんか。

瀬山登議員。

○6番 瀬山 登議員 予算書59ページ、3款民生費、1項社会福祉費、2目老人福祉費、説明欄では老人クラブ活動補助事業、それと単位クラブ補助金について、所管ですので、町長にお伺いいたします。

予算委員会で、担当係長の説明では、現在登録されている単位クラブは14クラブと説明を受けました。私は、行政区割りと同数の34が理想であると思いましたので、なぜこれほど少ないのかお尋ねいたしましたら、各地域で老人クラブ会長を受ける方がいない、役員体制ができないとの回答でありました。高齢化社会が進行している社会で、このような状態に対し、町長はどう思い、予算を計上しているのか、行政の対応策を今後どのようにしていくか、お伺いします。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 ご質問のように、老人クラブのみならず、団体の会員になられる方は少なくなっているという事は伺っておりますけれども、特に老人クラブについては34行政区のうち、約半分の行政区の存続と、大変憂慮する部分もあるわけでもありますが、と申しますのは、今邑楽町の高齢者人口が33%というような状況になっておりまして、そういうことを考え合わせますと、やはり生きがい対策をはじめ、高齢者の皆さんが元気に活動していただくという、その活動の部分については大変重要な活動組織だというふうに私は思っております。したがって、それを行政としてどう対

応するかということではありますが、これについてはそれぞれの行政区の中で十分老人クラブとしての必要性ということをご理解をさせていただくということが大切ではないかと思っております。

それから、そういう中であって、ご質問にもありましたけれども、役員になっていただく方が少ないということも大きな要因かなと思っておりますが、しかしそうであっても、日々の生活の中での高齢者の皆さんが元気に健康で生活をしていくということは大切なことでもありますので、町といたしましても、そういった考え方で補助金等も、僅かではありますが支出をさせていただいているということもあります。今後担当はもちろんです、地域の中でのその組織が減少する、あるいは弱体化するということについて、それぞれの行政区の、あるいは関係する皆さんがなお一層話を詰めていただいて、活発になっていただくことが私は大事なかなと思っております。これは老人クラブだけでなく、ほかの団体もそのような状況でもありますので、こういうときだからこそ皆さんと英知を出し合って、そして活動を展開していただくということが大切でもあります。そのバックアップとしては、当然行政としても行ってまいりたいと、こんなふうに思っておりますので、ご理解賜りたいとこのように思います。

○松村 潤議長 瀬山登議員。

○6番 瀬山 登議員 町長の回答を聞きますと、各行政区で単位クラブ必要だというふうに思っている、人材も考えている。各地域に区長をはじめとした役員、いろいろな行政に携わった方がたくさんいらっしゃいます。人選については、かなり努力すればできるのではないかと私思っています。このクラブ、介護保険や高齢者医療保険の削減にもつながると思っておりますので、いつまでも元気な高齢者が活動を維持させるために、老人クラブの活動助成金はものすごく大切な補助事業だと私は思っています。役員体制確保のため、行政が単位クラブ会長職を位置づけ、会長報酬を出して、各行政区に必要なのだということをもっと事業として進めて、例えば2日の中にある米寿、金婚式祝いや敬老祝い事業など記念事業については、老人クラブと各単位クラブが一緒になってお祝いをし、みんなでお祝いしたら、その方も喜びが一層増すと思っておりますので、もう少しこの老人クラブが各地域に必要性を行政としてやっていくべきだと私は思っています。今年度は、老人クラブが各行政区に全部できるような取組を推進事業をしていただくことをお願いします。

そして、よく高齢者クラブの名前が大変聞きづらいような、寿クラブとか老人クラブ、高齢者クラブ、名前がどれ取っても老いてきたような感じがいたします。私はちょっと考えたのですが、人生を表彰台に乗せると、85歳以上は金メダル、75歳以上85歳未満は銀メダル、65歳以上75歳までは銅メダルかなと思っております。ですから、人生は金メダルを目指して、みんな生き生きと活動していただきたい。ですから、高齢者クラブなんて言わないで、一応ゴールドクラブとでも名前を変えたら、一層喜んでクラブに加入する方もだんだん多くなって、理想ではないかと考えましたので、これからも高齢化社会に向かって進めていく中で、よりよい活動なり進めていただきますようお願いして、私の質問といたします。

○松村 潤議長 答弁は求めますか。

○6番 瀬山 登議員 今のことについて、一応町長の考えを答弁お願いします。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 大変貴重なご提案をいただきましてありがとうございます。一つ一つの節目の中で、そういった一つの方法も十分考えられると思いますが、しかしやはり自らその活動を通して元気に、そして地域の皆さんと活動を共にしていくということが私は大切だというふうに思っておりますし、その団体に対してのいろんなご提案いただいたわけですが、町のほうでもお祝金と言っては些少なので大変失礼なのですが、年齢の節目節目にそういった形での行政としての対応は取っておりますが、これについては老人クラブ連合会の会長等々おられますので、そういった方々にこういった一つの提案もあったということもお伝えをして、そしてまさに元気で生活してもらう、健康でということが一番だと私思っておりますので、今健康づくり課もこの4月から組織改革をつくりまして、まず健康な日々を過ごすためにはということで、担当もそういったことも行っております。また、今日も元気体操ではありませんけれども、そういったメニューも今日10時からですか、計画しているようなこともありますので、一つ一つのそういった場面を通して、今ご提案をいただいたような形、できるだけ多くのクラブが醸成できるように努めていきたいと、こんなふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○松村 潤議長 塩井早苗議員。

○8番 塩井早苗議員 私は、民生費の66ページです。病児、病後児保育のことについてお聞きしたいと思ひます。

今年度予算が50万3,000円という僅かな予算が組まれております。この病児、病後児保育は、こやなぎ医院というところでやっております、1市4町がこの事業を共同でやっているということです。これは、今回呂楽町では利用者が4名だったのです。利用者にお聞きしますと、利用している保護者の方たちに聞いてみますと、頼もうと思ったらもう満員で断られてしまったというような、そういうようなお声を聞きます。定員は1日6名です。朝の8時半から5時半まで、土日祝日、小児科休診日は休み、保育の延長は全くなしという細々とやっている事業です。こやなぎ医院には大変な努力はいただいているのですが、これだけで足りるかどうか。保護者たちの需要をちゃんと満たしているのかどうか、その点について、町長にお聞きしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 病児、病後児保育は、大変大切な保育だというふうに私は認識しておりますし、今議員のほうからお話がありました先生にお願いしているわけでもありますが、定員が6名に対してということの中で、利用されている方からもっと充足、充実をしてほしいというようなお話があったよということのようではありますが、やはりその利用する方が多くなればということもありますが、まずは受入れをしていただく先生の環境ということも十分考慮してということになると思ひます。

したがって、先ほど4人の方というお話がありましたが、かなり利用される方が多くなっているということもあります。したがって、町のほうでは50万3,000円ほどの予算措置をさせていただきましたが、今後そういった具体的な事例ということであれば、これは担当のほうに十分その辺を研究をさせて、そして対応ができるような、もちろんお願いする委託先の状況もありますので、一方的に町のほうでこうだということも決めるということも、これは慎重にしていかなければならないというふうに思っていますので、今のご質問については十分担当のほうで調査をさせて、そして先生との協議ということも十分出てくると思っていますので、その辺がマッチングできるような形で、研究をさせていただくということをお願いしたいと思えます。

○松村 潤議長 塩井早苗議員。

○8番 塩井早苗議員 1市4町ということは広範囲です。その熱のある子どもをこやなぎ医院だけに1か所にとというのが、実はそもそも無理な話なのだと思うのです。実はある市町村のことですけれども、もう既に各保育園で、病児は無理だけれども、病後児なら大丈夫ということで、そこに看護師なり養護教諭の方たちを配置して、しっかりとその園で賄っている。今日は熱が下がったのは下がったけれども食欲はないし、普通に園の活動の中には入れないという子どもたちは多いわけです。そういうような子どもたちを園のところで専門の知識を持った方が見てくれる、そういうシステムになるべきだと。その園ですと、毎日毎日子どもを見ています、看護師やら養護教諭の先生方は。そうすると、子どもの状態を知っている方がその病後児を見るわけです。そうすると、全く知らない、全く知らなくはないですけれども、こやなぎ小児科だけをお願いするのよりは、もっときめ細やかな、その子の性格やいろんなことの趣味が、言葉が分かり、状態が分かり、その保育園で見られる、こういうシステムに変えていっているところもあります。これは、とても大切なことだと思うのです。予算は確かにかかると思います。各園に一人一人のそういう専門家が必要になってきますから。しかし、少ない子どもたちの安全と安心と健康のことを考えれば、今後はいろんな方策を取っていく必要があるのではないかとそんなふうに思いますが、町長のご意見をお願いいたします。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 病児、病後児ということがありますので、受け入れる園児のその状況ということがつまびらかに把握されていまして、受け入れた後でまた大変な状況に出てくるだろうというふうに思います。しかし、受け入れる、その委託をお願いしているところが全くもういっばいで受け入れができない。そうした場合にさあどうするかということで受け入れる場所がないと、保護者の方は、勤務と申しますか、お仕事ができなくなってしまうということになりますので、これはこの病児、病後児保育の始まったのもまだ日が浅いという状況もありますが、町として今保育園あります。今、保育の、以前は保育に欠ける子どもということでの一定の規制と申しますか、決まりがあったのですが、今は全てと言ってもいいと思うのですが、保育園なり幼稚園にということの方全て受け入れし

ているのが現状です。したがって、保育現場も大変な状況で、保育士もなかなか充足ができないということもありまして、そういったことを考えますと、そういった体の具合の悪い園児をどういった形で受け入れるかということも、大きなこれは問題といたしますか、考えていかなければならない部分もありますので、今後町としてその受入れ状態をどうするかというお尋ねですが、十分病後児の方については、先生のそれなりの園に措置ということも可能だというような判断もあると思いますので、病後児の部分についてはそういったいろんなことをクリアした中で検討していくということで、今後担当のほうにも十分その辺研究をさせて、そしてその可能性があるかどうか、もちろん可能性があるかどうかということよりも、実施するという方向での研究をさせていただくということで、今すぐ分かりましたということはお答えできなくて申し訳ないのですが、そのようなことでちょっと研究をさせていただければと、こんなふうに思います。

○松村 潤議長 塩井早苗議員。

○8番 塩井早苗議員 町長、いい答弁をありがとうございました。前向きに検討してくださるということでぜひよろしく願いいたします。

○松村 潤議長 大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 一般会計の61ページ、3款民生費、4目障害福祉費、説明欄の白丸3つ目、福祉タクシー使用料補助事業、これが1,013万3,000円、そのうち福祉タクシー使用料が998万4,000円取っております。これの今の使用料の福祉タクシーの利用状況、大体どういうふうになっているのか。ちょっと説明いただければというふうに思います。

○松村 潤議長 橋本福祉介護課長。

○橋本恵子福祉介護課長 福祉タクシーの利用状況についてですけれども、今現在4月から今までに700人ぐらいの申込みがあります。そのうちの今年度新規で60人ぐらいの運転免許を所持していない方の申請となっております。

以上です。

○松村 潤議長 大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 今、説明がありましたけれども、今現在邑楽町も30%を超えた高齢化、これからこれがどんどん、どんどん広がっていくという状況の中で、例えば買物、あるいは医療機関に行く、いわゆるその足がなくなってくると。今度循環バスも路線が前と変わりました、病院とかそこへ行く手段がなくなったわけです。その代わり、篠塚駅、本中野駅、それから、生協、とりせんというところのあれは停留所が増えたということがあります。ただ、これから、特に私なんかは家族がおりますし、まだマイカーを自分で運転しているわけですが、先ほど課長のほうからもありましたように、免許証の返納、こういう人もだんだん増えてくる。特に一番心配なのは、ひとり住まいの、独居老人と言っては失礼かも知れませんが、そういう方も増えてくる。こういう中で、確かにタクシー券は非常に便利という点では便利だと思います。しかし、この1年間で48枚と



いう、かける400円券ですか、今。そういう状況にあるわけです。私もいろいろ言われますが、とても48枚、1年間全然足りないよと、そういう声はあちこちで聞くわけなのです。これをゆくゆくはいろいろ交通の足という点も、これからよりきめ細かい交通体系、そういうものを構築していく必要があるわけですが、当面やっぱりこういうものに頼らざるを得ないという点から考えると、もう少し枚数をやはりここで思い切って増やす必要があるのではないかというふうに思うのですが、その辺町長のお考えを伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 ご質問の趣旨は十分理解できますが、町のほうでも限られた予算と申しますか、その中で実施をさせていただいております、したがって利用する方については一定の制約と申しますか、条件に合った方という形もそのようなわけでもありますので、この48枚で年間ということだと大変少ないというようなご質問ですが、免許返納者の関係についても、まだ昨年からですか、始まったばかりでもありまして、60名という報告ありましたが、高齢化が増えていく、そして1人、2人の高齢者の家庭も増えているという状況もあります。しかし、大変、お答えにならないかもしれませんが、その48枚をもっと増やして利用しやすいような形を取ってほしいというお尋ねですが、この枚数も一定の基準を考えた中で設定したということもありますので、これまた今それを増やすということについては即お答えできませんけれども、先ほどお話がありましたけれども、町で運行しているバスもそういった先ほど買物ですとか、そういう形で利用される場合には、そういった配慮もしておりますし、できるだけ公共バスを使っていただいて、そしてそういったその部分を補っていただければありがたいと思いますので、これについてはまた当初決めた、48枚ということを決めたときと現段階がどのように環境が変わっているかということも十分考え合わせませんと、なかなかすぐということもお答えできませんが、十分その辺も研究をさせていただくということで、お答えをさせていただきます。

○松村 潤議長 大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 これで最後にいたしますが、ちなみに、規模は違いますが、一番群馬県で多いところは前橋市です。120枚です。500円券が120枚。前はこの前橋市も使用するのにいろんな条件がついておりました。ところが、今は何に使ってもいいというような非常に緩やかな条件の中で、今やられているという話を伺っております。前橋市と邑楽町規模が違いますから、当然。ただ、規模が違うけれども、人口とかなんとかからすれば、やっぱり相当前橋市もそういう点での比較というのはちょっとできないのではないかと思います、確かにお金がかかります、それは。お金がかかりますけれども、全く邑楽町はお金がないわけではない。やりくりするのは大変だと思いますが、財政調整基金ですか、今現在22億円あります。毎年3億円、4億円お金を財政調整基金に繰り入れるというようなことを考えますと、もう少しここに配慮をして、予算を組んでやる必要があるのではないかと、私はできるというふうに思います。邑楽町は、福祉ということを表明しています。福

社の町だとするならば、それにふさわしいようなやはり予算を組む必要があるのではないかという点で、ぜひそのように努力をお願いしたいというふうに思います。これは要望としておきます。よろしく願いいたします。

○松村 潤議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 次に、第4款衛生費、第5款労働費、第6款農林水産業費について質疑を行います。予算書では81ページから100ページまでとなります。

質疑ありませんか。

原義裕議員。

○9番 原 義裕議員 6款農林水産業費、ページ数にしますと97ページ、加工米等の出荷の状況なのですが、水田利活用自給力向上事業、これに加工用米等出荷促進補助金500万円というのが計上しているのですが、これはどのような補助金であるのか、お聞きしたいと思います。

○松村 潤議長 吉田農業振興課長。

○吉田享史農業振興課長兼農業委員会事務局長 お答えいたします。

こちらの補助金につきましては、加工用米、飼料用米、備蓄米等に取り組む農業者に対して、予算の範囲内で1俵当たり500円を上限に補助する事業でございます。

以上でございます。

○松村 潤議長 原義裕議員。

○9番 原 義裕議員 今の説明であります、この補助金を活用している農家というのはどのくらいあるのかお聞きしたいと思います。

○松村 潤議長 吉田農業振興課長。

○吉田享史農業振興課長兼農業委員会事務局長 お答えいたします。

農家数では把握していないのですが、令和4年度ですと、俵数という形になりますけれども、加工用米が2万1,478俵、飼料用米が7,379俵ということでございます。農家数に関してはちょっとデータがないので、申し訳ございません。

以上でございます。

○松村 潤議長 原義裕議員。

○9番 原 義裕議員 そうしましたら、その農家数につきましては後で結構ですからご報告いただければと思います。

以上です。

○松村 潤議長 原義裕議員。

○9番 原 義裕議員 続きまして、農業用機械購入費補助事業、これにつきましても補助金として400万円、これが計上をされておりますが、これは何件ぐらいで使われているのか、お聞きしたいと思えます。

○松村 潤議長 吉田農業振興課長。

○吉田享史農業振興課長兼農業委員会事務局長 お答えいたします。

上限が400万円以上の機械を購入するものに対し20%の補助で、上限が100万円となっております。100万円上限といたしますと、4件の農家が認定農業者なのですけれども、対象という形になるかと思えます。

以上でございます。

○松村 潤議長 原義裕議員。

○9番 原 義裕議員 分かりました。ありがとうございました。

○松村 潤議長 ほかに質疑ございませぬか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 次に、第7款商工費、第8款土木費、第9款消防費について質疑を行います。予算書では100ページから116ページまでとなります。

質疑ありませぬか。

原義裕議員。

○9番 原 義裕議員 103ページを開いていただきたいと思えます。103ページですが、103ページの7款商工費、邑楽町共同福祉施設改修工事というのが5,800万円あるのですが、これはどのような改修工事するの、お聞きしたいと思えます。

○松村 潤議長 小島商工振興課長。

○小島 拓商工振興課長 お答えします。

工事の概要でございますが、1点目は外周の改修工事、2点目は屋上防水改修工事、3点目はトイレ改修工事、4点目は照明LED化工事でございます。

以上でございます。

○松村 潤議長 原義裕議員。

○9番 原 義裕議員 大分それぞれ工事を行うようですが、私が常々邑楽町福祉センター寿荘についても、邑楽町共同福祉施設ですか、についてもお話ししていると思えますが、かなりこの施設につきましても老朽化が進んでいるわけだ。改修等々についても考えていただければと思えます。

以上です。

○松村 潤議長 ほかに質疑ありませぬか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 次に、第10款教育費、第11款災害復旧費、第12款公債費、第13款諸支出金、第14款予備費について質疑を行います。予算書では117ページから162ページまでとなります。

質疑ありませんか。

松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 10款教育費の中の学校管理費、1目ですね、この部分についてお伺いしたいと思いますが、ページ数だと122ページから126ページの中の小学校4校の運営事業費、それから130ページから132ページにわたりまして、中学校のほうの中学校2校に係る運営事業費、この中の学校長交際費についてお伺いをしたいと思いますが、122ページの説明欄の上から2つ目の丸印、中ほどになりますが、学校長交際費ということで1万円計上されておりますが、これ小学校4校の学校長に対して1万円ずつ、計4万円ということで計上がされております。しかしながら、中学校費、中学校のほう、中学校2校、130ページから132ページの間になりますが、邑楽中学校、そして邑楽南中学校の校長にはこの交際費が計上されていません。なぜ小学校長に計上されていて、中学校長には計上されていないのかというところが私1つ疑問なのです。その点についてお伺いをしたいのと、併せてこの交際費であります、小学校長費には出ているわけですが、この1万円という予算の中で、こういった機会にこの交際費が使われるということを見込んでいらっしゃるのか、その2点についてまずお伺いしたいと思います。

○松村 潤議長 松崎学校教育課長。

○松崎澄子学校教育課長 お答えします。

校長の交際費につきましては、支出の内容といたしまして、地元のお祭りなどを想定したものでございます。小学校で邑楽町を4つに区切っておりますので、小学校の校長に交際費がついているということだと思われまして。中学校のほうには計上していない理由ですが、はっきりと申し上げられませんが、小学校4校で町内全域を管轄しているというところから、そちらに計上されていると思われまして。

以上です。

○松村 潤議長 松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 よく分かりました。地元のお祭りなどの参加費というか、その寸志といいたいでしょうか、そういったことなのでしょう。私がちょっと調べましたら、令和元年度からの決算になりますけれども、令和元年度に中野小学校の校長交際費が3,000円だけ支出されているということで、あとはずっとコロナの関係もあったのでしょうかけれども、支出がされていないということです。慶弔費、例えば町長交際費であれば、議長もそうですが、その関係する慶弔費などでもその交際費

の中から支出しているということだろうと思うのですけれども、これは町長にお伺いしますが、町長の交際費は年間100万円計上されています。金額的には学校長の場合は1万円ずつだということなので、果たしてその金額が町長の交際費に照らして適切なかどうかということについては、これはあくまでも町長の見解で構わないのですけれども、どうなのでしょう。これちょっと私は少ないような気がしないでもないのですが、コロナも落ち着いてきて、そういったことに使われることもこれから増えてくるのかなという感じはしますので、その点はちょっと考慮いただいてもよろしいのかなと思うのですが、今の時点での町長の見解がもしあれば、お伺いしたいと思います。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 私自身、この交際費の利用に当たっては、できるだけといいますか、その交際に町としての体面という言い方はおかしいのですが、そういうことを失しないような形で、そして最小限に利用させていただいているということでもあります。したがって、慶弔費等についても、これは交際のある自治体間の中での関係する状況があった場合には、利用させていただいておりますけれども、それ以外は全てこれは利用していないということでもあります。したがって、交際費については、その利用の内容ということが大きく反映されるわけですが、先ほど申し上げましたけれども、町としてお付き合いが恥じないような形での利用は、秘書のほうにも慎重に対応するようということをお願いしていますので、昨年も決算でコロナということもありましたが、半分ぐらい利用させていただいたかなと思います。半分といいますと50万円、そこまで届いているかどうか分かりませんが、そんな状況ですので、今後こういった活動がどんどん広がっていくと、やはりその必要に応じて利用させていただくということになりますが、現状では私自身できるだけその交際費については利用といいますか、使用については慎重に、今までもそうですけれども、使わせていただいているという気持ちで支出を行っております。

校長先生のということですが、これは先ほど担当のほうからもありましたが、特にお祭りということでありましたけれども、それ以外にでもそういった支出の要素はあるのではないかと思います。その金額が多いか少ないかということについては全てそうなのですが、実績を基にして算出をされたというふうに思っておりますので、この本予算についての計上については妥当ではないかと、そのように思っております。

○松村 潤議長 松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 町長の場合は、そういうお祭り等に呼ばれたものもあれば、公務としてご出席される慶弔の場面もあるということなので、少しこの使用範囲をやはり広げていく必要性も私もあるのかなと思っているのです。校長先生となれば、やはり例えば子どもの父兄に対して、そういった仏事があれば、そういうことでのお香典料だとか、そういうものもあるでしょうし、それ全て今の状態では個人で賄われているのかなというふうには思うのですけれども、そういったところもある程度は認めていく必要性もあるのではないかと思います。ぜひその辺も考慮していただいて、今

後予算組まれるときにはやはりもう少し現場のところを詳しく調査していただいて、組んでいただければというふうに思います。

もう一点、同じ10款教育費の中で、項目が違いますが、質疑がありますが、このまま続けてしまってよろしいですか。それとも一旦座ったほうがよろしいですか。

○松村 潤議長 続けてください。

○7番 松島茂喜議員 それでは、続けさせていただきたいと思います。

ページ数だと147ページになります。中央公民館費の中でございますが、147ページの上から4つ目の丸印、文化芸術鑑賞事業757万1,000円の予算が計上されておりますが、これ前年度が504万4,000円だということで、約250万円ほど増額ということになっておりますけれども、これはそもそもどんな事業を予定しているのか、また講演会等講師謝礼として、そのうちの757万1,000円のうちの180万円、これが講師の謝礼として支払われる予定になっておりますけれども、これはどんな講師の先生をお招きする予定になっているのか、その2点についてまずお伺いしたいと思います。

○松村 潤議長 田中生涯学習課長。

○田中敏明生涯学習課長 お答えいたします。

文化芸術鑑賞事業につきましては、町民の皆さんに優れた芸術文化に触れてもらうことを目的にいたしまして、全国、あるいはまた世界レベルで活躍されている方をお迎えして、町民の皆さんに鑑賞の機会を提供する事業となっております。

それから、その内訳でございますけれども、1つは予算について、昨年度と若干増額になっているというのはあくまで想定している招聘する演者に対しての謝礼といいますか、委託料等もあるわけなのですけれども、その金額が違うことによるものでございます。

それから、こちらの180万円につきましては、ピアノリサイタルの出演者の謝礼と、それからクリスマスコンサートの出演者の謝礼でございます。

○松村 潤議長 松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 2人の講師の方にお支払いをする謝礼とすると、かなり高額なのかなというふうに思います。課長おっしゃったように、世界的なやはりアーティストをお招きしてということで、そういった機会に触れることがなかなか町民の皆さんもないので、そういう機会を与えるという意味では、これ非常に貴重なこれは時間になるから、当然その費用対効果としても、この金額が妥当だということなのでしょうけれども、私が一番気になっているのは、その文化芸術鑑賞事業の中の事業企画運営委託料、これ490万円なのです。前年度が403万円でした。また、約90万円ほど増額になっておりますけれども、そもそもこの事業企画運営委託料ですから、どこかの業者というか、そこにその企画運営そのものを委託するお金なのでしょう。この委託する際に、どこかの業者に委託するのでしょうか、それをする際にどんな選定方法を用いているのか、その点についてちょっと確認をさせていただきたいと思います。そして、毎年毎年違う業者がこれは運営企画をして

いるのか、その点も併せて、企業名等言えるようでしたら、お願いをしたいと思いますけれども。

○松村 潤議長 田中生涯学習課長。

○田中敏明生涯学習課長 お答えいたします。

こちらの事業につきましては、実際にこちらで呼ぼうとしているプレーヤー、演奏者であるとか講演をする方がいらっしゃるわけなのですけれども、その方を呼ぶに当たって、直接交渉して呼べる方と、それからそういう事務所等を通さないといけないところがありまして、実際にこちらの選定の方法としては、この人を来年度呼びたいという際において、どれぐらいの費用で呼べるか、先ほどお話ししましたけれども、直接交渉して謝礼の交渉できる方と、それはできないけれども、その事務所、プロダクション、あるいはその中間に入る業者等を通して決めるという2つのパターンがありますので、あくまでどんな人を呼びたいかということによって、費用の委託料になるのか、謝礼になるのかというところが違うということがございます。

○松村 潤議長 松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 中央公民館のそもそも建設される時のコンセプトというのは、当然副町長からも私何度もお伺いしているのでも分かりますけれども、できる限りやはり手作りで町民の皆さんがその運営企画をしていくということがある、そのコンセプトの一つだったと思うのです。そういったことに鑑みれば、有名なアーティストをそういった運営企画会社を通して招聘していただいて、なかなか触れられない文化に触れていただくということももちろんいいのですけれども、それよりももっと重要なのは、町民の皆さんがそもそものコンセプトどおり、やはり手作りで運営企画をして、中央公民館事業を盛り上げていこうと、そういった趣旨に基づいた事業をやっていただくことが私は先決ではないかなと思っています。この490万円の、仮にこの運営企画を委託する会社にお金を払うのであれば、そこの中央公民館で活動されている皆さん、いろんなサークルの方々いらっしゃるでしょう、今日も傍聴にも来ていただいておりますが、そういった方々の活動費だったりですとか、何らかの中央公民館で活動するための費用としてその分を充てていただくこともこれはできるわけです。自分たちで手作りをして、その事業を考えれば、そうすればやはり自分たちで中央公民館をこれから盛り上げていこうという、もちろんそういう意識も高まりますし、またそれが循環して、自分たちの活動費の中に返ってくるとなれば、こんないいことはないではないですか。ほかのやはり自治体の事例も見ましたけれども、経費削減という部分も含めてなのでしょうけれども、最近ではそういった運営方法というか、運営指針というか、そういった公民館活動をされている自治体も増えてきています。そういったことも考えれば、少しはやはりそういったところにも予算を投じてもよろしいのかなと私は思うのですけれども。もちろん虹色カーニバルだとか、そういうところでも運営に携わっている方々いらっしゃると思うのですけれども。それに加えてプラスアルファとして、やっぱりそういうことも考えていく必要があるのかなと思いますが、最後に町長の考えをお伺いして終わります。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 確かに文化芸術活動を向上させるということを考えますと、担当課長のほうからお答え申し上げた形で、そういった特にプロといいますか、専門的に行われている方々の状況ということも私は大事なことだというふうに思っております。あわせて、手作りのというお話がありましたが、私はつい先日も高島公民館まつりがありまして、以前は長柄公民館まつりがありました。その活動をしている皆さん方の発表、それから展示等を見させていただいたときに、これほど皆さん頑張っておられる、それがたまたまその中央公民館のほうで発表があったわけですが、そういうことを考えますと、やはりそういったいろいろな環境を受けた中での手作りにつなげていく、発表ということにもなるのかなというふうに思っておりますので、これは活動している皆さん方のやはりその積極性ということがそういうことも大きくあると思っておりますが、私はそういうことを考えますと、この中央公民館を利用させていただいての邑楽町の文化活動というのは、大きく以前と比較してということだと失礼なお話になるかもしれませんが、以前に比較して本当に発表会ですとか、展示等を見た場合にはすばらしいのと、向上して生き生きと活動しているなというのは私自身大きく感じております。

それから、最初の専門の方の部分については、当然支出も、先ほどもお話がありましたように、180万円、あるいは757万円というお話がありましたが、そういった支出もありますけれども、当然そういった方をお呼びする場合には、入場料といいますか、このチケットの収入もこの予算のほうに入っているわけでもありますので、全てがその支出に関わるものではないということもちょっとご理解いただけたらと思いますが、チケットも応分の費用負担もしていただいて、観覧といいますか、していただいているという状況もありますので、またそれからそういった方々を招聘するときに、小学校、中学校のほうにも児童生徒の皆さんに、コンサートが多いのですか、専門の方が発表していただく、視聴していただくというようなことも利用をしていただいておりますので、金額、十分担当のほうでは最低限の支出の計画というふうに思っておりますので、できるだけそういった環境も整えながら進めていくということが私は大事なことだというふうに思います。群馬交響楽団の演奏ですとか、いろいろあるわけですが、そういったことを利用する中で、町の文化活動を町民の皆さんに高めていっていただくということにつながりますので、貴重なご意見いただきまして、これも十分反映させていきたいと、こんなふうに思います。

○松村 潤議長 松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 費用対効果のもちろんお話も私のほうからもさせていただきまして、町長のほうからも今お伺いをしました。ただ、その金額的な問題だけではなくて、公民館活動というのは、そもそもその地域のコミュニティーを形成する大切な場であるというふうに私は思っています。もちろん利用者の方々も恐らく同じかなというふうに思うのですが、コミュニティーがこのコロナ禍によって非常に薄らいでいると、こういう状況があるのかなと。先ほど瀬山議員の質疑の



中にもありましたけれども、その老人クラブなる団体の数が減っていると。これは、まさにその地域のコミュニティーがやはり薄らいできているということの要因の一つなのです。そういったことをしっかり形成して、皆さんが豊かな生活を送っていくということが公民館活動の一番重要な私は趣旨だと思うのです。ですから、多額の費用を投じてお金を払えば、当然有名な方は幾らでも呼べるでしょうけれども、そういった方々の演奏見てすばらしいなという感動はそのときにあるにせよ、それが地域コミュニティーに果たしてつながるかという、疑問点があるわけです。だから、その辺を天秤にかけることがいかななものかというご意見もあるかと思いますが、ただ私は間違いなくそのコミュニティーの形成のほうが、これは重要かつ大切だというふうに私は思うのです。ですから、そういう事業はやめろという話をしていてはなくて、公民館そのものの目的に沿った、また地域住民のためになる事業をやはり最少の経費で考えていただいて、運営を続けていくことが、この町にとっても中央公民館にとってもこれは最善策かなというふうに思っておりますので、ぜひその辺は考慮いただき、お願いをしたいと思います。

以上です。

○松村 潤議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

大野貞夫議員。

〔13番 大野貞夫議員登壇〕

○13番 大野貞夫議員 議案第17号 令和5年度邑楽町一般会計予算に反対の討論を行います。

金子町長の令和5年度における施政方針、予算説明の冒頭に令和5年1月23日に閣議決定された令和5年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度によると、物価高を克服しつつ、計画的で大胆な投資を官民連携で推進するなど、新しい資本主義の旗印の下、我が国経済を民需主導で持続可能な成長経路に乗せる施策を推進することにより云々と政府の方針を話されました。しかし、予算案の第1の、そして最大の特徴は、戦後の安全保障政策の大転換を掲げて、専守防衛を完全にながり捨てることを宣言した安保3文書に基づいて、今後5年間で43兆円という大軍拡を進める初年度予算であり、敵基地攻撃能力の保有を現実のものとするための兵器を導入し、日本と世界の平和を脅かすとともに、軍拡財源のために国民に犠牲を強いるという戦後最悪の予算案です。

第2に、軍拡のあおりを受けて、暮らしの予算は削減をされ、41年ぶりの物価高騰に苦しむ国民の暮らしや営業を守り、経済を立て直すためには全く程遠い予算案だということです。

第3に、子育て予算倍増、1億円の壁の是正などの目玉政策が軒並み看板倒れとなり、GX、グリーントランスフォーメーションの名で原発回帰を進めるなど、岸田首相が掲げる新しい資本主義

の正体がますます明らかになってきた予算案だということです。政府は、ウクライナ情勢など、軍拡の理由に挙げますが、自民党が軍事費2倍化を打ち出したのは、ウクライナへの侵攻以前のことです。もともとこの大軍拡計画は何よりもアメリカの要求に応えるものです。そのことは、年末に安保3文書を閣議決定した岸田首相が、年明け早々国会に説明するより早く訪米して、アメリカ、バイデン大統領に報告したことに現れております。

さて、こうした中で提案された邑楽町令和5年度予算総額94億5,000万円は、コロナ時期を除いて過去最高の予算額になっていますが、年金は下がり、給料は上がらないのに、物価高、医療や介護の負担は増えていく。これでは暮らしてはいけません。こんなときこそ、住民の暮らしを守る町政が求められているのではないのでしょうか。高過ぎる国民健康保険税の引下げ、介護保険料の引下げと利用料の負担軽減、ますます高齢化を迎える中、高齢者へのタクシー券の交付枚数の拡充、鉄道と路線バス、デマンド交通などを組み合わせた公共交通網の整備拡充、学校給食費の完全無料化、保育士の配置基準の改善、返済不要の奨学金制度の創設、学校まで遠い地区の児童生徒のためのスクールバスの運行、住宅リフォーム補助制度の拡充、店舗リニューアル制度の創設、有機農法の奨励など、特色ある産地づくりなどなど、邑楽町第六次総合計画もあと残すところ3年有余となりました。「やさしさと活気の調和した 夢あふれるまち“おうら”」を将来像として、残された期間、この基本計画実現のために町民ニーズの変化、多様性を的確に捉えた行政サービスの提供を実現するためにも、持続可能な町政運営に徹することを希望して、今回の予算案に反対の討論といたします。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

黒田重利議員。

〔4番 黒田重利議員登壇〕

○4番 黒田重利議員 議案第17号 令和5年度邑楽町一般会計予算に対する賛成討論を行います。

令和5年度の我が国の経済見通しでは、物価高を克服しつつ、計画的で大胆な投資を官民連携で推進するなど、新しい資本主義の旗印の下、我が国経済を民需主導で持続可能な成長経路に乗せるための施策を推進することにより、令和5年度の国内総生産の実質成長率は1.5%程度と見込まれています。しかし、引き続き海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスク、物価上昇や供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。また、アフターコロナにおいての新たな行政サービスへの取組の推進、ロシアによるウクライナ侵攻等による経済に与える影響、食料品や電気料などの値上がりが続いていることから、町民生活の安定と経済活動の活性化を継続して支援することが必要です。

このような状況の中で、本町における令和5年度の予算規模は、一般会計で94億5,000万円、前年度に比べ4億9,500万円の増額となっております。歳入では、昨今の景気動向を考慮し、町民税額が3億9,672万8,000円の増額となっているほか、地方交付税についても1億2,000万円の増額と

なっています。また、令和3年度より実施しているプレミアム付商品券販売金を2億円見込んでいます。町債では、臨時財政対策債が1億2,670万円の減額などが見込まれています。

歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種事業を適切に実施するとともに、電子地域通貨によるプレミアム付商品券、コハクペイを前年度と同規模で実施予定となっています。

町の最重点課題としている子どもを産み育てやすい環境の整備を実感できる事業として、3歳から5歳までの園児に対して行っている給食費の無償化や町内小中学校生の給食費の軽減を継続しています。子どもへの虐待対応や子育て世帯の相談、要支援児童への支援等の強化を図るために、子ども家庭総合支援拠点を設置し、子育て世代包括支援センターと連携しながら、妊娠期から出産後の子育て期間まで切れ目なく支援を行い、母子保健や子育て支援を含む包括的なサービスを提供し、子育て環境の充実などが行われています。

もう一つの最重点課題である産業振興の推進の実現に向けて、邑楽南地区の生活拠点整備事業が完成し、邑楽館林農業協同組合の直売所を中心に地域住民の利便性向上及び町の地域資源の発信地として活用され、直売所での野菜を中心とした施設園芸の規模拡大を進めて、農業収入の安定と拡大につながることを期待します。

健康、高齢者福祉の充実のため、健康に自ら取り組み、継続して行えるよう、健康アプリを導入し、歩数の把握、健康教室への参加、健診受診等にポイントを付与し、若年層の健康意識の向上、町民の健康増進につなげる取組がなされます。

以上のように、引き続き厳しい財政状況ではありますが、様々な事業が取り組まれております。令和5年度においても、引き続き大切な予算を効率的な行政運営を実施することで、多くの町民の皆様が邑楽町で暮らすことで、幸せを実感できるような町政運営を要望し、賛成討論とさせていただきます。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第17号 令和5年度邑楽町一般会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○松村 潤議長 起立多数。

よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

暫時休憩いたします。

〔午前11時15分 休憩〕

○松村 潤議長 休憩前に引き続き一般質問を行います。

〔午前11時29分 再開〕

---

◎日程第2 議案第18号 令和5年度邑楽町国民健康保険特別会計予算

○松村 潤議長 日程第2、議案第18号 令和5年度邑楽町国民健康保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

原義裕議員。

〔9番 原 義裕議員登壇〕

○9番 原 義裕議員 議案第18号 令和5年度邑楽町国民健康保険特別会計予算について賛成討論をいたします。

国民健康保険は、社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的に、被保険者の疾病、出産及び死亡などに関し必要な保険給付を行う医療保険制度で、国民皆保険体制の基盤となる制度として地域医療の確保や町民の健康保持増進に大きく貢献しております。

令和5年度邑楽町国民健康保険特別会計予算総額は、前年度に比べ1億5,067万5,000円増額の27億1,043万円です。現在、町の国民健康保険加入者は、人口の約4分の1を占めております。世帯においては約4割が加入しております。加入者は減少傾向にあり、低所得者や高齢者の加入割合が高いなどの構造的な課題を抱えています。また、医療費は高齢化や医療技術の高度化もあり、国民健康保険財政は依然として厳しい状況にあります。

県が事業運営に加わり、広域化に移行しましたが、引き続き町が担う特定健診や保健指導など、医療費削減に向けた保健事業や医療費適正化対策などを推進していただくとともに、県と連携し一層の国民健康保険財政の健全化を図っていただきます。持続可能な国民健康保険制度となるよう期待して、本予算に賛成いたします。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第18号 令和5年度邑楽町国民健康保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○松村 潤議長 起立多数。

よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第3 議案第19号 令和5年度呂楽町後期高齢者医療特別会計予算

○松村 潤議長 日程第3、議案第19号 令和5年度呂楽町後期高齢者医療特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第19号 令和5年度呂楽町後期高齢者医療特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○松村 潤議長 起立多数。

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第4 議案第20号 令和5年度呂楽町介護保険特別会計予算

○松村 潤議長 日程第4、議案第20号 令和5年度呂楽町介護保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

塩井早苗議員。

〔8番 塩井早苗議員登壇〕

○8番 塩井早苗議員 議案第20号 令和5年度呂楽町介護保険特別会計予算について賛成討論をいたします。

介護保険制度は、平成12年、高齢者を社会全体で支えるという理念を持って誕生し、制度施行以

来23年が経過し、令和5年度では24年目となります。この間、国の制度見直しにより、介護予防の重視、地域者支援事業の充実など、様々な改正が行われてきました。そして、たくさんの高齢者が助かったこともあります。しかしながら、全て利用者の希望に沿ったものと言えないものもありました。

現在では2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指しております。それには、介護保険事業者の介護内容の精査やきめ細やかな指導を町がやっていく必要があります。本町の高齢化率は着実に上昇し、第1号被保険者の高齢化率は令和5年2月末に32.51%となっています。ここ数年の要介護、要支援認定者の状況を見ると、13.5%前後の認定率で推移しております。

このような状況の中、令和5年度の介護保険特別会計予算の総額は20億8,304万7,000円で、前年度に比べ2,557万4,000円、率にして1.21%の減となっています。介護保険は、40歳以上の被保険者が納める保険料と国、都道府県、市町村からの公費によって運営されています。保険給付費は、歳出予算総額の90.2%を占めており、今後のサービス量の増加により、厳しい財政状況になることも予想されます。

令和5年度は、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の最終年度ともなります。ますます健全な介護保険財政を保ちつつ、高齢者の方が住み慣れた地域で、より個人のニーズに合った自立した生活を安心して送れるよう、介護保険事業の運営を心がけていただくとともに、第9期に向けて、健康づくりの取組、介護予防、重度化防止対策、地域の社会資源を生かした生活支援やサービスの充実を図ることを要望し、本案に賛成いたします。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

小沢泰治議員。

〔12番 小沢泰治議員登壇〕

○12番 小沢泰治議員 ただいまの賛成討論について、私も同感でありますけれども、ぜひ邑楽町のこれからの展望について、町長からお話しいただきたいのですけれども、よろしくお願ひしたいと思います。

○松村 潤議長 討論ですから。質疑ではありませんので。

○12番 小沢泰治議員 そしたら、ただいまの賛成討論については私も同感なのですが、非常に厳しい中にありますので、どうぞ今後もよろしくお願ひいたします。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第20号 令和5年度邑楽町介護保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○松村 潤議長 起立多数。

よって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第5 議案第21号 令和5年度邑楽町下水道事業特別会計予算

○松村 潤議長 日程第5、議案第21号 令和5年度邑楽町下水道事業特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

佐藤富代議員。

〔2番 佐藤富代議員登壇〕

○2番 佐藤富代議員 議案第21号 令和5年度邑楽町下水道事業特別会計予算について賛成討論を行います。

令和4年度実施した工事の完成に伴う、公共下水道の供用開始区域が2ヘクタール増加し、224ヘクタールとなる予定です。このことは、全体計画面積242ヘクタールの9割以上が整備されていることを示します。また、供用開始区域内の全人口に対し、実際に下水道へ接続している人口の割合も7割以上と公共下水道に対する関係者のご理解の下、順調に推移をしております。

令和5年度の予算総額は4億4,099万8,000円で、令和4年度に比べ294万2,000円の減、率にすると、約0.7%とやや減少となっております。人口減少などにより、厳しい財政状況下ではありますが、さらなる接続人口の推進を図り、持続的な事業運営、効率的な事業計画及び執行により、町民の生活環境の向上を図ることを要望し、本議案に賛成いたします。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第21号 令和5年度邑楽町下水道事業特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○松村 潤議長 起立全員。

よって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

---

◎散会の宣告

○松村 潤議長 以上で本日の日程は終了しました。

明日17日は午前10時から会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

[午前11時49分 散会]